

平成30年7月6日（金）  
にぎたつ会館

本日は、愛媛労働局並びに愛媛県進路指導研究会との共催により、愛媛県進路指導研究協議会を開催いたしましたところ、このように多数の方々にお集まりをいただき、誠にありがたく存じます。皆様方には、生徒一人一人の進路希望を実現するため、日頃から熱心にキャリア教育に取り組んでいただいていることに対しまして厚くお礼申し上げます。愛媛労働局の発表によりますと、今年3月の高等学校卒業生の就職決定率については、おかげをもちまして、99.3%と、高い水準を保っております。皆様方の御尽力に対しまして、重ねて感謝申し上げます。

さて、御案内のとおり、今年3月に告示された次期高等学校学習指導要領では、学校教育の目指すべき理念として、「社会に開かれた教育課程」が位置付けられ、子どもたちに社会や職業で必要となる資質・能力を育むために、小・中・高等学校を通して、学校で学ぶことと社会との接続を見通しながら、キャリア教育の充実を図ることの重要性が示されました。

このような中、県教育委員会では、教育基本方針の一番目に、「社会総がかりで取り組む教育の推進」を掲げ、学校や家庭、地域、企業等が連携・協働して、次代を担う子どもたちの健やかな成長を支援しているところです。

具体的には、向上心を持って生活する態度を育てる「えひめっ子ピカイチ大賞」、中学校における職場体験学習の一層の充実を図る「えひめジョブチャレンジU-15事業」、地元で学び活躍する人材を育成する「地域産業スペシャリスト育成事業」、新規就職者の離職率低減を目指す「高校卒業者職場定着促進事業」、障がいのある幼児児童生徒の自立と社会参加を支える「愛媛県キャリア教育・就労支援充実事業」等を実施し、学校・家庭・地域・企業等が連携しながら、子どもたちの適切な勤労観や職業観を育成するキャリア教育を推進することとしています。

本日は、「個性を生かし、たくましく生きる力を育むキャリア教育」を研究主題として、研究発表や研究協議などが行われると伺っております。学校現場で直面している諸課題について十分に論議を深め、解決の方向性を探っていただきますようお願い申し上げますとともに、児童生徒一人一人が、どのように生きたいかを主体的に考え、将来への夢を持って進路を選択することができるよう、小・中・高が一貫して、継続的・発展的な取組を進める相互理解と連携の場となりますことを祈念いたしまして、挨拶といたします。